



36号 3339回例会 2024年 6月 13日(木)

🌸 会長の時間 🌸 木下登会長

本日の「会長の時間」は思考を変えて、皆さん大好きな、「土用の丑の日」と鰻について話をします。夏になると、スーパーマーケットの店頭で「土用の丑の日」のキャッチコピーと共にウナギが並びます。昔から比べると、お値段がだいぶ高くなりました。東京だけでもウナギ料理店が 900 軒もあるくらい、日本人はウナギが大好きです。でも、そもそも「土用の丑の日」とは何の日でしょうか。なぜこの日にウナギを食べるのでしょうか。



「土用の丑の日」とは「土用」は立夏・立秋・立冬・立春直前の約 18 日間の「期間」を示す言葉です。そして、昔の暦では、日にちを十二支で数えていました。つまり、「土用の丑の日」とは、土用の期間におとずれる「丑の日」のことを指しているのです。土用は、毎年違うので、「土用の丑の日」も毎年変わります。更に夏のイメージが強いかもしれませんが年に何回もやってきます。ちなみに、今年の立夏の丑の日は、2 回有って、7 月 24 日を「一の丑」、8 月 5 日を「二の丑」と呼びます。鰻にとって「土用の丑の日」は、大変お気の毒の日になる訳ですが！

「土用の丑の日」にウナギを食べる意味は 7 世紀から 8 世紀に編纂された「万葉集」には、ウナギを詠んだ歌があります。

【石麻呂に 吾れもの申す 夏瘦せに

よしといふものぞ むなぎとり召せ]

今「土用の丑の日」にウナギを食べるのも、「土用の丑の日」の、季節の変わり目にあたる為に、体調を崩しやすいので、合理的と云えます。実際、ウナギにはビタミン A やビタミン B 群など、疲労回復や食欲不振に、効果的な成分が多く含まれています。夏バテ防止には、ピッタリの食材と言えます。

「土用の丑の日」誰が決めたか？
ウナギを食べる習慣が一般にも広まったのは、1700 年代後半、江戸時代でした。一説によれば、「夏に売り上げが落ちる」と、鰻屋から相談を受けた蘭学者の平賀源内が、店先に「本日丑の日」「土用の丑の日」うなぎの日 食すれば夏負けすることなしという看板を立てたら、大繁盛したことで、ほかのウナギ屋もマネするようになったとか。この「本日丑の日」は、日本初のコピーライティングとも言われています。

うなぎ以外の食材もよし うなぎ以外には、「う」のつく食べ物が良いといわれています。「丑（うし）の日」の「う」ですね。例えば、うどん・ウリ・梅干し・馬肉・牛肉などいずれも栄養価が高い、または食欲がなくても、食べやすい食材ばかり。平安時代から室町時代には、「めぐり」という水団（すいとん）や小豆、ニンニクを食べていたと、伝わっています。食べて元気をつけよう！ というのは、時代に関係なく共通のようです。

鰻料理は、関西と関東では調理法が違うまずさばく際、「関東は背開き」「関西は腹開き」一説には関東では、武士の文化が強く、切腹を嫌ったこと、関西は、商人の文化が強く、腹を割って話すのが好まれたと、云われています。そして関東では、一度焼いて、蒸した後に、タレをつけて焼き上げるのに対し、関西は蒸さずに、そのままタレをつけて、焼き上げるという、大きな違いがあります。

鰻の蒲焼きの起源について

18 世紀頃までは、ウナギは焼いた後、塩や味噌をつけて食べられていました。現在のような蒲焼きの始まりとしては、18 世紀の後半に千葉県銚子市にある、ヒゲタ醤油が、「濃口醤油」を作り、それをうなぎの蒲焼きに使ってから、広まっていったといわれています。

<幹事報告>

1. 6月20日(木) 例会はバンケットルームにて会長、幹事、SAAの挨拶。

2. 6月27日(木) 昼間は狭山ゴルフクラブにてゴルフ部コンペ、夜は黒茶屋にて最終例会。

3. 昨日、国際ロータリー第2570地区第3グループ、現・新会長幹事会が狭山市ニックスにて執り行われました。最初は現・新2部屋に分かれ現会長幹事会は1年を振り返ってのテーマで発表。新会長幹事会は自己紹介をテーマに11グループが紹介されました。後に合同会議が行われガバナー補佐齋藤栄作様より青少年交換プログラムについてご意見を述べられました。続いて新ガバナー補佐倉片順司様より次年度への豊富を述べられました。

懇親会では皆さん和やかな雰囲気での感想ですが、現会長幹事はホッとした表情でしたが、新会長幹事の皆さんはこれから1年という思いが表情に現れていた感じでした。

間野尚幹事



●水村雅啓パストガバナー

本年度地区では、諮問委員会委員、指名委員会委員、国際大会推進委員長の役目をいただいております。諮問委員会は年に4~5回ほど開催され、ガバナーの諮問に答えるほか、ガバナーエレクトの国際協議会壮行会・報告会など行いました。開催地は、本年度は高丹ガバナーが深谷クラブということで、深谷、秩父などで開催されました。



指名委員会は、ガバナーとなるエレクト、ノミニ、ノミニデジグネートを指名する委員会です。当地区は「なかなか候補者が決まらない」有名な地区として知られていました。本年度はお陰様で五十幡和彦エレクト(行田さくらRC)、坂口孝ノミニ(川越RC)、原島生慈ノミニデジグネート(秩父RC)まで決定され、ほっとしているところです。今後は第2、3グループから選出できる様に働きかけていきたいと考えています。

国際大会推進委員会は、先週もお話しましたが、シンガポールでの大会に多くの会員が参加することを目的に活動してきました。計画ではツアー参加30名、ガバナーズナイト50名の出席を目標に掲げました。直前の欠席などもありましたがツアー26名、ガバナーズナイト49名(シンガポール・チャンギRCから10名の参加があり総勢59名)の参加でほぼ計画通り盛大に開催できました。同じホテルで第2560地区(新潟)もガバナーズナイトを開催しており、同期の高尾ガバナーとも会うこともでき相互にパーティーに参加させていただきました。異国で友と談笑できたことは格別の嬉しさでした。次年度はカルガリー(カナダ)、次は台北(台湾)、次はホノルル(ハワイ)です。次年度になりますが、私は地区戦略計画委員長の役目を担います。この委員会は、地区の継続的な目標、計画、事業展開を検討するため設置されているものです。直前ガバナー、現ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニの4名と検討する分野に造詣の深い委員で構成します。現在当地区には地区運営の明確な運営マニュアルがない状態ですので、次年度は坂口孝ガバナーエレクトと共に地区と各クラブが連携してロータリー活動ができるように運営マニュアルの作成に努めていきたいと考えています。

●委員長報告

[親睦活動委員会] 細田浩司委員長

木下年度最終例会には是非多くのご参加宜しくお願い致します。

🌸感謝状 フードバンクいるま



高丹秀篤ガバナーよりユジンさんへ



■ 五大奉仕委員長 事業報告 ■

■ クラブ奉仕委員会 晝間和弘明委員長

親睦委員会、プログラム委員会は「新旧慰労激励会」から始まり「親睦旅行」まで行事ごとに細田親睦委員長を中心に家庭集会を開催し意見を出し合い、各行事をより良いものにつくりあげ最終例会を残すのみとなりました。最終例会も思考を凝らし楽しい例会になると思います。



ロータリー情報委員会では忽滑谷委員長に協力して頂き10月26日 司産業会議室にて5年未満の会員を中心に19名の参加していただき「ロータリーの基礎知識」研修会を行い沢山の会員に参加頂き勉強と懇親を深めました。

増強委員会は中々単年では難しいところもありますので引き続き入会候補者にアプローチし入会につながるよう努力しておりますので会員の皆さんご協力宜しくお願いいたします。

■ 職業奉仕委員会 一柳達朗委員長

●今年度の事業計画として

1. 毎月、第一例会時の国歌斉唱後、ロータリーソング「四つのテスト」を唱和し、職業意識高揚を図る。
2. 会員に「我らの生業」を発表して貰い、その職業について学ぶ機会を作る。
3. プログラム委員会と協力し、会員又はその他の企業訪問を行い、会員同士の理解と、親睦の場を作る。



●実施した事項

- ・毎月月初めの例会では「4つのテスト」をロータリーソングとして皆で唱和した。
- ・我らの生業と職場訪問として
23/9/7 後藤賢治会員
23/9/14 大塚拓議員「国会」職場訪問
24/1/25 菅野茂実会員、吉田勉会員
24/4/4 一柳達朗会員、岩崎茂会員
24/5/16 馬路宏樹会員「坐禅例会」

大塚拓議員職場訪問は、国会視察後にアーディゾン美術館を見学、ロータリー美術館長の後藤健さん、夕飯の「山屋」さんは豊田会員のご協力により実現でき、一年間ご協力ありがとうございました。

■ 社会奉仕委員会 田中快枝委員長

活動方針は「希望と友情を深めよう」のテーマの基に地域の皆様と共に奉仕活動を行いました。



活動計画の地区の社会奉仕活動に参加するは12月に行われたフードバンク入間市に青少年奉仕委員会と共に参加しました。子供達の笑顔が良かったです。皆様にもぜひ参加していただきたいです。入間万燈祭りは数年ぶりの参加は楽しかったのですが、テントの場所ちよっぴり寂しかった様に感じました。

地区補助金を活用し教育機材の寄贈は入間市の子供たちのために入間市長へ100万円の寄付を行いました。寄付の使途が判ればいいと思います。（木下会長が次週報告していただけるようです。

■ 国際奉仕委員会 馬路宏樹委員長

第2570地区の国際奉仕委員会の会議に二回参加しましたが、近年のコロナウイルスの影響に最も翻弄されたのが国際奉仕委員会では無いかと思います。しかし本年、第55期青少年交換プログラムが募集されます。これは高校生に海外生活を通じて国際理解と国際交流の意義を習得することを目的とし、2025年8月から2026年7月までの1年間、フランス、イタリア、インドネシア、台湾等に交換派遣されるものです。7月1日から15日まで募集期間。28日には選考試験があり、8月5日に発表され、合格者（派遣候補生）は出発までの1年間で約10回のオリエンテーションに参加し資格を得て派遣生となります。費用については他の留学と違い大分軽減されますが、交換プログラムとあるように派遣生を送り出したご家庭には海外からの派遣生を6ヶ月程度受け入れなければなりません。外国人の受け入れに躊躇されると思いますが、その負担にも勝る大きな喜びが得られると伝えられています。



このように国際奉仕委員会に限らず、コロナ以前の各種プログラムが再開されることを歓迎致します。

■ **青少年奉仕委員会 間野尚幹事(代読)**

青少年奉仕委員会の杉田委員長がゴルフ協会のコンペに参加しているため代読させていただきます。



年当初、フードバンク入間へ担当変更の挨拶で伺ったところ、年に数回開催されている、フードパントリーについて説明を受けました。その内容を委員会へ報告するため、7月10日に「やまき」にて家庭集会を開催。今年度のメイン事業を、12月に開催されるフードパントリーへの参加とし、来場する子供たちへクリスマスプレゼントとして「お菓子詰合せ」を贈る事に致しました。

予算は活動費予算10万円のうち9万円(最終的には89,748円)でした。

お菓子の用意は、フードバンク側の伝手でお願い致しましたが、入間ロータリーからのプレゼントであることが判る様に、ロゴをシール印刷しお菓子の袋、ひとつひとつに貼って手渡しました。当日は、対象者が事前参加予約している母子家庭でしたので、可愛い子ども達や綺麗なお母さんたちが沢山来場。お菓子のプレゼントは、時節側大変喜ばれました。

尚、前年度委員長の田中快枝さんから個人的に協賛頂いた、高価なガトーフェスタハラダのラスクが、ロータリーのお菓子と一緒に大量にプレゼントされた事も報告させていただきます。

また年間を通じ、会員の皆様から沢山の協賛品とミルク募金(5月末までの総額48,038円)をフードバンクへ届けたことも合わせて報告致します。一年を通じてご協力頂きありがとうございました。

来年度も継続した事業となる事を祈っております。

<出席報告> **駒形一人委員**

会員数	出席数	出席率	前回修正率
38名	22名	61.0%	-----

事前欠席連絡12名

一柳達朗会員 ご父堂様ご逝去挨拶



故一柳芳彦の通夜、告別式には多くの方にご弔問、ご会葬いただき誠にありがとうございました。父の活躍したこの入間の地から送り出せたのは息子として最後の親孝行ができました。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

<ニコニコBOX> **白幡英悟SAA**

☀️ **滝沢文夫君、忽滑谷明君、吉沢誠十君、繁田光君、晝間和弘君**

細田さん写真ありがとうございます。

☀️ **木下登君、間野尚君、宮崎正文君、白幡英悟君**

本日の五大奉仕委員長事業報告よろしくお願ひ致します。細田さん写真ありがとうございます。

☀️ **一柳達朗君**

父、故一柳芳彦の葬儀頂きありがとうございました。

☀️ **岩崎茂君**

早退いたします。

本日¥22,000 累計¥1,122,063

■ **回覧、配布物**

- ① ロータリーの友6月号
- ② 6.7.8月プログラム
- ③ カルガリー国際大会質問と回答
- ④ 入間市役所企画企画課より
- ⑤ 6/27 ゴルフ&木下年度最終例会出欠表
- ⑥ 7/4 新年度第1回例会出欠表
- ⑦ フードバンク寄贈品受領書
- ⑧ 入間RC週報34,35号

発行 **入間ロータリークラブ**

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788

■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel.04-2963-1111

■例会日：木曜日12:30~13:30 ■会報委員長：繁田光

